

稲山良文議員

跡地を蘇生

埋立完了後の跡地利用は

問 高齢化社会がさらに進行し、2025年には人口の5分の1を75歳以上が占めます。超高齢社会に直面し、高齢者の居場所づくりや生きがいづくり、健康づくりに対応する施設を設置することが急務と考えます。3号埋立地の跡地活用について、地域住民、町民の意向を十分に考慮しグラウンドゴルフ場設置を提案します。

答 この跡地利用については、今後開催される埋立跡地利用検討会議で検討するため、先行でグラウンドゴルフ場設置に向けた調査研究のみ行う考えはありません。さまざまな観点から検討する必要があると考えています。

政策提案

埋立跡地にグラウンドゴルフ場設置

3号埋立跡地。今後の活用方法は



その他の質問「町有山林（常木山）に太陽光発電（メガソーラー）の計画」

鈴木詠子議員

災害リスク

気象庁防災対応支援チームと連携を

問 災害対策基本法が大幅に見直され、「全員避難」レベル4を出すまでの詳細な分析が自治体に求められています。気象災害の専門情報を提供する気象庁防災対応支援チーム（JERT）との連携強化や気象防災アドバイザーの活用、災害リスクの高い「ため池浸水想定区域」、「土石災害警戒区域」に住む世帯への対応について伺います。

答 大変心強い支援として、大規模災害時等は迅速な支援要請ができるよう準備を整え、気象講演会の開催等の活用も研究します。災害リスクが高い場所の要支援者を優先して個別避難計画の作成を推進します。

政策提案

水害、土砂災害の激甚化対策急げ



その他の質問「家庭ごみの減量化・資源化の取り組み」

原口孝議員

12歳以上

コロナワクチン接種の現状は

問 接種の現状とワクチン不足による影響への対応、安心で楽しい生活を取り戻すため、正しい情報を危機感を持つて周知する重要性と、今後の対応を伺います。

答 8月23日時点で1回目の接種は1万7082人（全町民の52.44%）、2回目接種は1万4305人（44.0%）、65歳以上は1回目1万364人（93.5%）、2回目927人（83.7%）です。高齢者への接種は、地元医師会等、多くの協力で順調に進みましたが、現在の供給は希望の3分の1程度。今後も確保に努め、広報誌やHP、SNS等により、接種状況やスケジュールを周知します。

政策提案

危機感をもってワクチン接種推進



その他の質問「鉢形城跡保存整備事業、町道123号線の県道格上げ、企業誘致」



委員会レポート

新しい観光拠点と新しい環境がキーワード。町内の取組について調査・報告します！

新しい「観光」と「環境」をひもとく

寄居町の玄関と言え、南口駅前拠点施設の概要説明を受け、荒川沿いの遊歩道や玉淀河原、雀宮公園の整備状況を調査しました。

寄居駅南口駅前拠点施設は「寄居の顔」となる重要な施設。想定では木造2階建てで、用途は観光案内をはじめとした、多目的利用が検討されています。委員会では、施設の運営体制

や、雀宮公園↓玉淀河原↓鉢形公園の往復約4キロメートルの回遊ルート、統一感のある観光案内看板の整備、観光客用の駐車場の確保について、意見が交わされました。今後、回遊の見どころなど、観光客呼び込み、にぎわいのある寄居町となるため、調査研究を進めます。

総務 経済 「にぎわいのあるまちづくり」再生

観光拠点づくり（寄居駅南口～鉢形城跡）について



夏の風物詩 朝顔。歩道で見つけた「団十郎」

私もひと言!

歩いてみようかな

駅を降りると楽しみが増えるような観光施設になるといいね。

いちかわかずお 市川和夫さん（市街地）

文教 厚生 目標「ゼロカーボンシティ宣言」

カーボンニュートラルについて



自動車の脱炭素化技術は“日進月歩”

私もひと言!

全員で学習と工夫

まず知ることから始めて、将来の環境保全につなげたい。

さわだえつこ 澤田悦子さん（男衾）

ワールドワイドで目指している脱炭素生活のカーボンニュートラル。ゼロカーボンシティ宣言を目標に、温暖化対策等を研究します。

テーマ決定後、最初の委員会となる今回は、寄居町の地球温暖化対策の取組について調査を行いました。委員会では、現在町で取り組んでいる、エコハウス推進事業の普及拡大や、太陽光発電の普及促進、公用車におけるエコカーの導入状況等について、質疑や意見が交わされました。今後、カーボンニュートラルについて状況を把握するため、次回は地球温暖化や気候変動に関する、専門性の高い研修等を通じて、調査研究を進めることとしました。